

美術部

第50回全国高等学校総合文化祭 あきた総文2026 美術・工芸部門 奨励賞 受賞

令和8年7月27日(月)～7月31日(金)

文化部のインターハイと言われる全国高等学校総合文化祭の美術・工芸部門に、岐阜県代表として美術部3年 田中結乃さんが参加しました。



秋田県立近代美術館にて7月27日(月)～31日(金)の間、全国から集まった各都道府県代表作品が並び、田中さんの作品も展示されました。



講評会の様子

部門開会式で講演をされた人形アニメーション監督の八代 健志先生が、すべての作品の中から気に入った作品を選び、講評してくださいました。その中に田中さんの作品も選ばれ、奨励賞を頂きました。岐阜県では唯一の受賞です。



総合文化祭では、まだ完成して1か月も経っていない体育館「IRISO アリーナ横手」にて講演会や講評会がありました。また、秋田県の伝統工芸「組子細工」を体験したり、他県の美術部員と美術館に行って互いの作品の説明や感想を述べあったりするなどの交流

会が行われました。盛りだくさんの内容でしたが、この体験を今後の活動に活かしていきたいと思います。



田中さんの感想

全国総文祭では、絵画やデザイン、彫刻など多くの作品を鑑賞し、一人ひとりの表現や技法の違いを見るのが楽しかったです。交流会では石に絵を描くWA ROCKを通して他県の参加者と交流したり、作品に込められた思いや意味を知ったりすることで、作品の面白さをより深く感じました。また、自分の作品で奨励賞をいただくことができて、自信につながりました。全国の場で今回学んだ新しい技法や表現を、今後の制作に生かしていきたいです。